

日吉台地下壕保存の会会報

第58号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

(年会費)一口千円で、一口以上

郵便振込口座番号 00250-2-74921

(加入者名)日吉台地下壕保存の会

会計のお問い合わせ : 白鶴 邦子 神奈川区白幡向町 20-49 045-402-9090
その他のお問い合わせ : 喜田美登里 港北区下田町 2-1-33 045-562-0443
ホームページ工事中! : <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Hanamizuki/2402/>

この夏は神奈川川崎に 全国の戦争遺跡保存運動が集結する!

第5回戦争遺跡保存全国シンポジウム「神奈川県川崎大会」

第9回川崎・横浜平和のための戦争展(2001)に皆さんご参加を!

毎夏恒例となりました、「川崎・横浜 平和のための戦争展」が、今年は「戦争遺跡保存全国シンポジウム」を兼ねて開催されます。会員の皆様方には、奮って参加いただけますようお願い申し上げます。

主催 : 第9回川崎・横浜平和のための戦争展実行委員会
戦争遺跡保存全国ネットワーク
第5回戦争遺跡保存全国シンポジウム神奈川県川崎大会実行委員会

後援 : 神奈川県・神奈川県教育委員会・川崎市・川崎市教育委員会
横浜市・横浜市教育委員会 (一部依頼中)

期日 : 2001年8月4日(土)・5日(日)

会場 : 川崎市平和館・法政大学第二高等学校

記念講演 : 澤地久枝さん(作家) 『語りつぐべきこと』

参加費 : ①戦争遺跡展 入場無料
②シンポジウム参加費 一般1800円(当日2000円)高校生以下無料
③澤地久枝さん講演会 500円
④交流会参加費 4000円

詳細日程等は同封の開催要項を参照願います。

川崎・横浜 平和のための戦争展(2001)への 賛助金のご協力をお願いします。

一面にも記しましたように、今年も例年通り、川崎市平和館で、「第9回 川崎・横浜 平和のための戦争展」を8月4日、5日に行います。

テーマは『私の街から戦争が見える』

「今こそ戦争遺跡を史跡として研究と保存を！——多摩丘陵、海軍連合艦隊司令部日吉台地下壕、海軍蟹ヶ谷通信隊地下壕、陸軍登戸研究所を‘平和’の観点からみる——」です。

今回は、同時に「第5回 戦争遺跡保存全

国シンポジウム」も兼ねます。これは、「戦争遺跡保存全国ネットワーク」が年に一度開催する全国大会です。展示会では、全国各地の戦争遺跡のパネル展示があります。また、特攻隊員の上原良司氏の遺品展が行われます。大規模で多彩な催しになりますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

例年どおり、運営は皆様方からの賛助金をもとに行いますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

戦争遺跡保存全国シンポジウム「神奈川県川崎大会」

川崎・横浜 平和のための戦争展(2001)のイベントご案内 日吉台地下壕(連合艦隊地下壕)見学会

8月4日にもフィールドワークで日吉台地下壕の見学会を実施しますが、当日は全国からの見学者が大勢見えますので、近在の方はイベントにご参加ください。

期日 : 7月22日(日) 13:00 東横線日吉駅 集合

参加費 : 500円(資料代)

人員 : 人数制限あり。必ず事前申し込みをして下さい。

申込み : 喜田美登里 tel & fax 045-562-0443

[目次]

第5回戦争遺跡保存全国シンポジウム「神奈川県川崎大会」	1頁
第9回川崎・横浜 平和のための戦争展(2001)のお知らせ	
第9回川崎・横浜 平和のための戦争展(2001)への賛助金のお願い	2頁
イベント 日吉台地下壕見学会のお知らせ	2頁
[情報]出版物のご案内	3頁
[報告]第13回定期総会と懇談会	3頁
2000年度活動報告	4頁
2000年度会計報告	5頁
2001年度活動方針	6頁
総会で選出された、会長、副会長、運営委員、会計監査、顧問	
2001年度予算	7頁
「活動の記録」など	8頁

【情報】

戦争遺跡保存全国シンポジウム「神奈川県川崎大会」にあわせて
2冊の本が出版されます！
買って、読んで、活用して下さい！！

著作名『戦争を歩く・みる・ふれる
 ——ピースロード多摩丘陵』

日吉から八王子まで戦争遺跡を訪ねるガイドブックで、本を片手に歩けるように書かれています。

著作名：未定

昨年の戦争展での講演『戦時下の慶応義塾』（白井 厚）と、『戦争の世紀としての20世紀』（松村 高夫）をまとめた講演集。

【報告】

第13回定期総会と懇談会

運営委員 亀岡敦子

5月26日土曜日、新世紀最初の総会が慶大日吉キャンパス藤山記念館で、開かれました。会に先立ち、今年春整備された地下壕の見学会が行われ、50名以上の参加者がありました。泥水が取り除かれて50基の蛍光灯が設置された壕内は、実際に使用されていた当時の姿により近くなり、以前にまして強く訴える力がありました。

総会は、2000年度の活動報告と会計報告、2001年度の活動方針案と予算案が、審議の後承認されました。大西章会長、鈴木順二副会長はじめ運営委員も再任され、新年度の活動がはじまりました。総会后、懇談会に移りました。熱心な会員や、実際に軍令部で任務についていた方を交えて、1時間余り話し合いが持たれました。最近、体験者から貴重なお話を聞く機会が、ふえてきました。地下壕だけではなくキャンパスをはじめとして日吉全体が、立体的に見えてくるように思われます。体験を正確に受け止

める知識を持ってはじめて、体験を語る想いに、近付くことが可能なのだと、自分の知識のなさに歯噛みするばかりです。しかし、体験者世代と戦後世代が共通の場に立って語り、またそれを更に語り継ぐことでしか、平和な社会を築く方法はないのかも知れません。



2000年度活動報告

2000年度は、日吉台地下壕保存の会の運動にとって、様々な動き、出来事のあった年でした。何よりも大きな事は、会報57号で報告された様に、2001年3月に慶應義塾が日吉キャンパス内の連合艦隊司令部地下壕の整備工事を完了した事です。まむし谷に見学用入口を設置し、壕内に流入していた大量の土砂を取り除き、マンホールには蓋がされました。内部には50箇所ライトがつけられ、これからの地下壕見学が大変安全に出来るようになります。慶應義塾、キャンパス事務局の方々に心から感謝致します。今年度は、8回目を迎えた「平和のための戦争展横浜・川崎」を、初めて慶應日吉キャンパスで開催できました。猛暑の中、300名以上の来場者がありました。一方、艦政本部の地下壕は、2000年度末に横浜市の災害対策室が一部を埋め戻しました。文化庁の戦争遺跡所在調査の結論もでていませんが、2001年度から壕全体が封鎖されていきます。その工事現場から7世紀末の横穴墓群が発見されています。日吉台地下壕が神奈川県・神奈川新聞社が募集した『かながわ未来遺産100』の60位に選定された事、地下壕工事体験者の方からお話を伺えた事、慶應大学放送研究会の地下壕ビデオ製作に協力した事等々。様々な活動を行い、課題も多様化してきました。保存運動が新段階に入った事を実感しています。

◇日吉台地下壕保存の会◇

- 会員数 306名 2団体 (5月17日現在)
- 定期総会開催 2000年5月20日 ● 運営委員会開催 12回
- 会報発行 4回 (54号7/4・55号10/4・56号1/25・57号4/18)
- ★見学会 14回 参加者499名 (日吉台地下壕13回・慶應日吉キャンパスピースウォーク1回)
- ★学習会 2回 12/16 慶應日吉キャンパスピースウォーク関係資料(新井探博氏)
5/12 日吉キャンパスの地下壕について(元慶應義塾職員 伊藤廣重氏)
- ★調査 5回 艦政本部地下壕 8/28・9/17 日吉台地下壕工事体験者等の聞き取り
11/4・12/10・1/21
- ★艦政本部地下壕について横浜市長に要請書提出9/4 (回答10/4)
- ★第5回戦争遺跡保存全国シンポジウム神奈川県川崎大会 実行委員会 8回
- ★「第8回横浜・川崎平和のための戦争展」主催 慶應義塾大学藤山記念館 7/22~23
参加者300名・慶應日吉キャンパスピースウォーク参加者80名 展示・若者の発表
講演「太平洋戦争下の慶應義塾」慶應義塾大学名誉教授 白井厚氏
「戦争の世紀としての20世紀」慶應義塾大学経済学部教授 松村高夫氏
討論会「若者と戦争」「戦争の実相と戦争遺跡保存の意義」
- ★「平和のための戦争展 in よこはま」参加・展示 神奈川県民センター 5/26~28
- ★「第4回戦争遺跡保存全国シンポジウム南国大会」参加 高知県南国市(ホリディ・イン高知) 8/18~20 運営委員5名 シンポジウム「21世紀に伝えるべきアジア太平洋戦争の真実—平和資料館・平和祈念館をめぐる諸問題—」パネリスト(新井探)分科会発表
「日吉台連合艦隊司令部地下壕保存運動の現状と課題Ⅱ」(新井探)「平和のための戦争展『私の街から戦争が見える』とピースウォーク」(新井探)

2000年度 決算報告

(単位 円)

費目	2000年度予算	2000年度決算	備 考
【収入の部】			
会費	304,000	270,000	206名・1団体
カンパ	0	10,000	
図書等頒布	0	202,735	見学会ガイド料等
雑費	0	48	
繰越金	394,926	394,926	
計	698,926	877,709	
【支出の部】			
運営費	100,000	89,025	各種会合、保管料等
事務費	30,000	48,382	事務用品費等
印刷費	30,000	21,398	会報・資料等
通信費	200,000	175,360	会報郵送費
資料費	20,000	33,079	書籍・資料等
頒布図書購入費	50,000	81,150	
交流・交通費	240,000	248,157	全国集会・各平和展賛助金
謝礼	20,000	9,987	講演・学習・調査等
予備費	8,926	16,058	
計	698,926	722,596	
差引残高		155,113	

以上の通り報告します

2001年5月22日

日吉台地下壕保存の会

会計 白鶴 邦子

この報告により収支を監査したところ、適正に処理されていることを認めます。

会計監査

森山 高行

印



会計監査

天野 喬子

印



2001年度活動方針

日吉台地下壕保存の会が発足して12年間の間が立ちました。その間、地下壕を戦争遺跡として保存するように、会員の方や地域の人達と協力して、慶應義塾、横浜市、県、国に働きかけをしてきました。

2000年度、慶應義塾が日吉台地下壕を本格的に整備したことにより、保存運動が新しい局面に入りました。保存することからどのように保存するかなど、質的なより具体的な提案をしていく必要があります。地下壕に関する調査・研究の重要性がより増してきました。また、寄宿舍の保存や平和資料館などの建設など次へに向けていろいろな問題が、まだ蓄積しています。そのためには保存運動をより広範囲に広げ、賛同者を増やし、全国の戦争遺跡保存運動を進めている団体とも協力して、より多角的に活動をしていかなければなりません。

21世紀になり新しい局面を向かえた保存運動は新しい世代に戦争の悲惨さを知識として伝えるだけではなく、実存するモノとして伝え、そこから学び、平和を考えていく場を提供し続けていきたいと考えています。

そのために以下の活動方針を提案したいと思います。

活動方針

- 日吉台地下壕内の整備・活用方法を考え、実現に努力する
- 日吉台地下壕見学会の内容を充実させ、より頻繁に開催する。
- 日吉台地下壕会報を充実し、ホームページ作製し、より多くの人に働きかける。
- 日吉台地下壕の調査・研究及び学習会の開催する。
- 日吉台地下壕平和資料館建設を目指し、実現に努力する
- 慶應義塾・横浜市・県・国への働きかけを地域の方々と連帯して行う。
- 全国の戦争遺跡保存の会との連携を深め、保存運動を盛り上げていく。
- 戦争遺跡保存全国シンポジウム神奈川県川崎大会を成功させる。
- 運営委員会の活動の充実と強化をはかる。

総会で選出された、会長、副会長、運営委員、会計監査、顧問

(7月14日順)

会長	大西 章	運営委員	佐相 康雄	運営委員	林 ちづ
副会長	鈴木 順二		鈴木 高智		茂呂 秀宏
運営委員	新井 揆博		白鶴 邦子	会計監査	天野 喬子
	岩崎 昭司		谷藤 基夫		森山 高行
	大久保 隆		遠山 孝治	顧問	永戸 多喜雄
	岡上 そう		常盤 義和		佐藤 林平
	亀岡 敦子		都倉 武之		鮫島 重俊
	喜田 美登里		中沢 正子		東郷 秀光
	酒井 啓		中谷 俊吾		

2001年度 予算 (単位 円)

費目	2001年度予算	備考
【収入の部】		
会費	304,000	300名・2団体
カンパ	0	
図書等頒布	0	
雑費	0	
繰越金	155,113	
計	459,113	
【支出の部】		
運営費	90,000	各種会合、保管料等
事務費	30,000	事務用品費等
印刷費	25,000	会報・資料等
通信費	180,000	会報郵送費
資料費	30,000	書籍・資料等
頒布図書購入費	40,000	
交流・交通費	50,000	全国集会・各平和展賛助金
謝礼	10,000	講演・学習・調査等
予備費	4,113	
計	459,113	

収入の部の会費は前年度実績をもとに計上しました

2001年5月26日



日吉台地下壕保存の会
運営委員会

活動の記録

2001. 4 ~ 6

- 4/18 第11回運営委員会 会報57号発送 (慶應高校物理教室)
- 4/22 戦争遺跡保存全国シンポジウム 神奈川現地実行委員会 (川崎市平和館)
- 5/12 慶應義塾元職員の伊藤さんに「日吉台地下壕の話」を聞く 参加者10名 (慶應大学会議室・キャンパス・地下壕)
- 5/13 日吉台地下壕見学会 (日本セカンドライフクラブ・32名参加)
- 5/17 第12回運営委員会 (慶應高校物理教室)
- 5/26 日吉台地下壕保存の会総会 (慶應大学藤山記念館) 地下壕見学会 (39名参加 案内7名)
- 6/1~3 『2001平和のための戦争展 inよこはま』展示 参加 (5/31-6/3) 5名参加
- 6/2 ●箕輪の海軍艦政本部地下壕調査 (10時~12時) 戦跡保存全国ネット代表 十菱駿武氏他15名
●箕輪横穴墓群発掘調査報告会 (13時~15時 日吉台小学校) 出席3名

●日吉台地下壕見学 (13時~15時) 戦跡保存全国ネット代表 十菱駿武氏他10名

●(仮称)日吉の丘公園計画説明会 (15時~17時) 出席 十菱駿武氏他6名

6/11 第1回運営委員会 (慶應高校物理教室)

6/17 第5回戦跡保存全国シンポジウム第1回イベント「浅川大規模地下壕と八王子の主な戦跡を歩く」参加会員7名参加

6/24 雑誌「フロント」取材に協力 連合艦隊地下壕・海軍政本部地下壕を案内 10名

6/28 神奈川県川崎大会現地実行委員会 (日吉地区センター)

予定

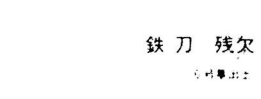
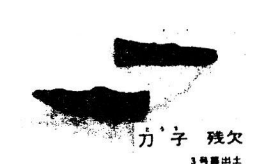
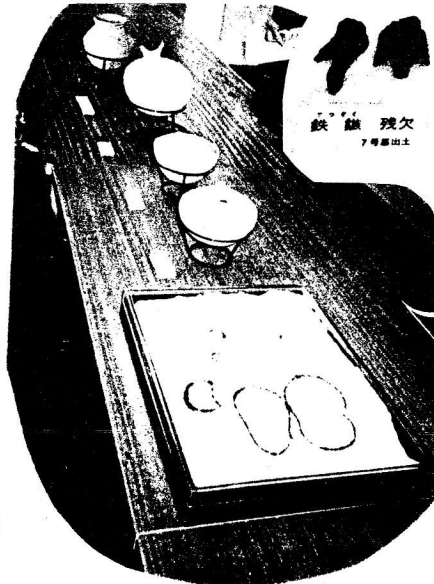
7/6 第2回運営委員会 会報58号発送 (慶應高校物理教室)

7/8 神奈川県川崎大会全国運営委員会 (法政二校)

7/22 第2回イベント「慶應日吉キャンパスの連合艦隊地下壕見学」

★見学希望の方は下記にお問い合わせ下さい 見学窓口 (喜田 045-562-0443)

★★写真は整備されたまむし谷側の連合艦隊地下壕入口と57号でも報告しました★★ 箕輪横穴墓群の出土品です。



鉄 鏃 残欠
7号墓出土

力 子 残欠
3号墓出土

鉄 刀 残欠
4号墓出土